



# THE Y's Men's Club of MISHIMA

No.517 12月  
2020

強 調: EMC/MC

例会日: 毎月第3火曜日 18:30~20:30 三島ワイズメンズクラブ CHARTERED OCTOBER 7.1977  
 例会場: 三島市民活動センター 4F 会議室 三島市本町 3-29 本町タワー

会 長 日吉和代 A副会長 青木利治 B副会長 相川毅 書記 光永尚生 副書記 石川敏也 会計 相川毅

主 題 三島クラブ会長主題: 和・楽で活動を!! (日吉和代) 国際会長: 価値観、エクステンション、リーダーシップ (Jacob -Kristensen: デンマーク) アジア太平洋地域会長: 変化をもたらそう (David Lua: シンガポール) 東日本区理事: 変化をたのしもう! (板村哲也: あずさ部) 富士山部部长: ワイズだから出来る! 粹にやろうぜ! 富士山部! (伊藤一芳: 富士宮)

今月のことば

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。 ヨハネによる福音書 1章9節

「まことの光」とは原文では「真実の光」。それは「隠れていない光」という意味である。あえてここで言うのは、偽物の光が多く存在しているからである。偽物の光は、自分を輝かせるだけ。そのような偽物が横行する闇の世界に、神さまはわざわざ真実の光を送り給うた。

2020年12月例会: 12月15日(火) 18:30~ 三島市民活動センター4F 第2会議室 (三島市本町3-29 本町タワー)

受付: 光永 尚生 Y's / 司会: 岡田美喜子 Y's

■ 12月例会

- \* 開会点鐘 会長 日吉 和代 Y's
- \* 開会の言葉 大村 俊之 Y's
- \* ワイズソング斉唱 出席者一同 (中止)
- \* ワイズの信条 司 会 (中止)
- \* 会長挨拶 会長 日吉 和代 Y's
- \* ゲスト・ビジター紹介 会長 日吉 和代 Y's
- \* 誕生日・結婚記念日祝 親睦委員会
- \* 食前の感謝 (中止)
- \* 会 食 (中止)  
 会長からの閑話 (5分) とメンバーの近況 (3分)  
 および部長輩出の他クラブとの相談の件など
- \* 書記報告 書記 光永 尚生 Y's
- \* 委員会報告 各委員会
- \* スマイル・出席率報告 親睦・プロドラ委員会
- \* 閉会の言葉 福田 淑子 Y's
- \* 閉会点鐘 会長 日吉 和代 Y's

Happy Birthday

12/04 相川  
12/11 渡邊 P

Happy Anniversary

該当者なし



今年もあとわずか・・・いと思うこと

プロドラ委員長 渡邊 近子

2020年もわずかとなりました。今年は、新型コロナの話で一年が終わろうとしています。すべての活動が中止になり、メンバー全員と会う機会もなくなり、寂しい気持ちが続いております。更に、11月には鈴木忠雄ワイズの突然の訃報、本当に耳を疑いました。生前は、マイペースな行動で皆様から注意を受けたりしていた姿が思い出されます。でも、時には、優しくいろいろなことを教えてくれたり、他クラブの方たちとの交流を大事にしていた忠雄さん今でも亡くなったと思えない状況です。本当にありがとうございました。そして、お疲れさまでした。天国から皆を見守ってくださいね。

話は変わりますが、今年は2月と5月に孫(女の子)2人が誕生し5人のおばあちゃんになりました。新型コロナでどこへも行けず、5人の孫たちと遊ぶ機会が増えています。今の状況下なかなかお孫さんに会えないおじいちゃんやおばあちゃんには申し訳ないです。精神的にも本当に癒され

ます。

息子の焼き肉店も徐々にお客様が戻りつつあり、たまにはお手伝いもたのまれるようになりました。このままの状態が続いてほしいですが、感染者数が毎日増えている状況にあり、不安になります。これからの経済はどうなってしまうか、早くワクチンができてほしいと願うばかりです。

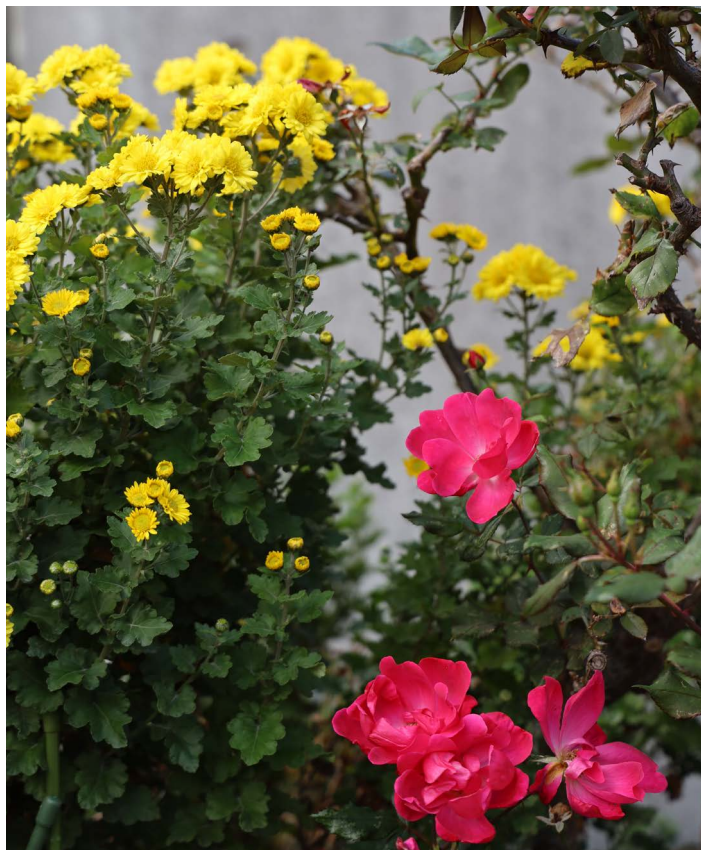
12月11日は、主人の誕生日です。一足早く9日に誕生会をやりました。

これから、寒さも一段ときびしくなります。皆様も十分に体調管理をして、年末を過ごしてください。



## 「庭のバラと寒菊」

A 副会長 青木利治



雨が上がり、今日は小春日和で暖かい日です。

## 自分ができることを正しく行っていきたい

B 副会長・会計 相川 毅

一年ぶりの有客生ライブ参戦希望も、チケット確保できず… ^^;;

コロナ禍の中、みんな生活スタイルがずいぶん変わってきていますね。今年も、外出や旅行も例年に比べ少なく、また年末年始は忘年会・新年会も全くないという状況で、本業に集中できる(笑) またとないチャンスではないかと感じます。

ただ、周りを見ていると過度に新型コロナウイルスを怖がり、自分の心を知らず知らずのうちに痛めている人が多く感じます。この情報過多の時代に本当に必要なことって何だろうと考えたときに、いかに正しい情報を取得するか、自分の思い込みを無くし、今まで正しかったはずの情報媒体であっても疑念を持つこと、情報は操作されている事を認識すること。それによって正しい情報にたどり着く方法を自分なりにしっかり考えること。現在でも、来年の祝日変更(11/27に発表)を、カレンダーを配布している人も知らない人が多い。これは一般のマスコミが情報をほとんど流していないことが理由と思われる。コロナの件も、米大統領選挙の件も、テレビや既にSNSでも情報操作がされていると感じます。特にコロナは、正しく恐れ、正しく対処。何より、手洗い・うがい・自己の免疫力を高めること、マスクの使い方に注意するなど。自分ができるとして、ただしく行うこと。

先日ある会合で、今このコロナ禍だからこそ、何が出来

るかを考え、行動すべきということ意見をもとめました。私の大好きなももクロちゃんたちも来年1月から有客ライブの再開を発表しました。しっかりと準備・対応をする。それにはファンの協力ももちろん必要だけど、なにより自分たちがやるべきことをやって、笑顔を届けるという大切な夢を実現する。彼女たちから教わることは本当に多いです。ただ、チケットが獲れず、落選続きなのが私の心を痛めつける… 困ったなあ(笑)【写真は相変わらずの「ももクロ」詩織ちゃんです】



## 私の原風景はワンダーフォーゲル部(渡り鳥人生)

書記 光永 尚生

私は、大学から体育会系の部活動である、ワンダーフォーゲル部に入部して、4年間活動を行いました。4年間では、ほぼ毎週末、九州の山々を歩き回りました。夏や春には、北アルプスも屋久島などまで足を延ばしました。九州の名峰市房山と、北アルプスの薬師岳では、2度もNHKの当時の人気番組である、「新日本紀行」に偶然取り上げられました。

体育会系の部活動ですから、縦社会で規律が厳しく、1年生は兵隊2年生は軍曹、3年生は将校、4年生は殿上人、OBは神様のような雰囲気がありました。しかし、今考えると、それは、規律ではなく厳しい自然に向かい、自然と共生できるような体力、気力、知力を保ち最後は、自然と



ともに楽しむためのものであったと気づきました。いつも、先輩たちは厳しくもありやさしくもあったものです。

私は、遭難対策係を拝命していましたので、特に救急法、気象観測、地形図の読図、などに精通するための勉強をしましたが、本業の教員免許取得後の採用試験はまじめに勉強せず2度も落第しました。

同級生の妻が、今も教員をしてい

て、私がYMCAで働く理由はこのあたりです。

監事 大村 俊之

新型コロナウイルスに因るワイズメンズズクラブ緒事業中止について寂しい限りです。特に東日本区大会（十勝大会）の中止は、昨年から計画を立て楽しみにしていたので残念でした。しかし秋になりもう少し生きる気力も湧いてきて腰痛解消を目指して毎週、筋トレを主としたリハビリ通院を再開しました。



師走を迎えた12月7日には三島プラザホテルで開催した経済同友会静岡東部協議会恒例の年末家族例会にメネット同伴で参加しました。丸テーブルに通常の半数で一人一人透明のタテで仕切ったの着席、10分程の例会後はオードブルとドリンクで1時間余音楽を静かに楽しみました。バイオリンとマリimbaと三味線という異色のユニットで、映画主題曲、クリスマスソング、歡喜の歌、ラスト情熱大陸と多様な曲の生演奏を心地よく聴き、アンコールのラデツキー行進曲では皆で手拍子、ニューイヤークンサートさながらに大変盛り上がりました。

団欒を最小限にして会食の代りにホテルの「特製お料理とお菓子セット」のお持ち帰りという幹事とホテルの工夫による例会でしたが、メンバーとその家族と顔を合わせ、マスク越しの挨拶でもそれなりにコロナの1年を締めくくる楽しい親睦のひと時でした。知恵を絞れば交歓する機会を創れることを体験しました。



困憊を最小限にして会食の代りにホテルの「特製お料理とお菓子セット」のお持ち帰りという幹事とホテルの工夫による例会でしたが、メンバーとその家族と顔を合わせ、マスク越しの挨拶でもそれなりにコロナの1年を締めくくる楽しい親睦のひと時でした。知恵を絞れば交歓する機会を創れることを体験しました。



次女が8月に出産、長女が10月に挙式しました

CS委員会委員長 岡田美喜子

日本で新型コロナウイルスが確認されてから10か月。感染症は未だ終息が見えない状況にあり、新しい生活様式など、これまでの当たり前前を見直さなければならな



くなりました。zoomで役員会を継続しつつ、例会の再開に向け模索中ではありますが、まだまだ元通りになることは難しいようです。

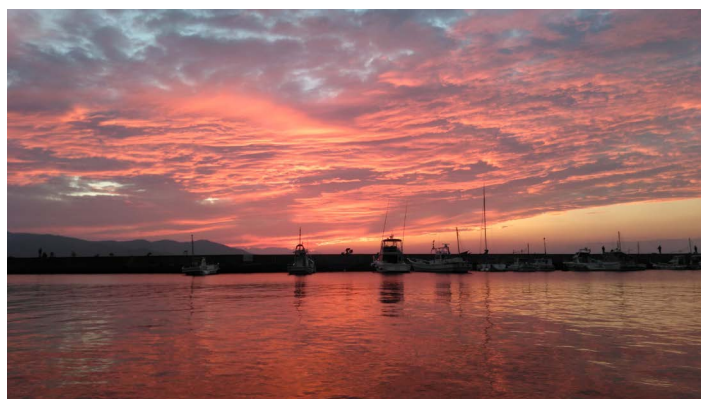
そのような中、我が家では、昨年結婚した次女が8月に男の子を出産し、長女が10月に挙式することができました。コロナ禍の出産は大変困難で、面会も叶わず、東京で仕事をしているパパはもちろん私たち夫婦も、保育器に入っていた孫と対面できたのは退院の生後1か月後でした。また、長女の結婚式は当初5月を予定していましたが、キャンセル料の問題や挙式の見途が立たない、コロナによる制約等で友人が披露宴に参加できないなど、娘たちにとって精神的にもつらい時期があり、私たち夫婦も心配の日々が続いていました。

人それぞれに事情があり、何らかの困難を乗り越えようと努力されていることと思います。日常が戻ったと思える日々まで、頑張ってください。

コロナ禍の中、釣りに目覚めて

副書記・会報・広報委員長 石川 敏也

一昨年亡くなった友人はプロの釣り師みたいなもので、朝早くから呼び出されるのですが、その時間はまだお店で酒を飲んでたワタシは、その誘いにまったく付き合うこともせず、釣りにも全く興味がありませんでした。その友人の仲間はすべて釣り関係で、釣りをしないのはワタシだけ。それがなぜかここにきて急に釣りに目覚めたのです。最初は体力作りにと静浦港辺りまで自転車を漕いで、コロナの影響もあってか家族連れ釣りが増えたなんて眺めていたのですが、100均のダイソーが釣りコーナーを充実させたのもあって、あまりお金もかかりそうにないし友人へのお詫びもかねて釣りを始めてみたのがきっかけでした。今では寒い中も毎週出かけるようになり、コロナを海風で飛ばしています。友人も空の上で笑っていることでしょう。



2020年12月 第6回 役員会議事録

日時:2020年12月1日(火) 19:00~20:30  
 場所:各自ZOOMにより参加  
 出席:11名中8名(相川ワイズ事務所:日吉会長○、相川B副会長○、藤田●、渡邊○、石川●)(ZOOM:青木A副会長○、大村○、岡田○、福田○、鈴木●、光永○)+大村メネット 計9名

協議事項(日吉会長/光永書記)

- 議題:11月活動報告
  - ▶特になし。
- 議題:12月例会の件
  - ▶詳細はプログラムを参照
- 議題:次次期富士山部長の件
  - ▶今後の三島クラブの活動の方向性などについて意見交換
- 議題:富士山部地域・Yサ事業主査業務遂行引継ぎの件
  - ▶主査業務に関して、12月中に各クラブへ、CS基金の申請書を配布します。同時に集計して1月23日に第2回役員会・評議会で議案提案できるようにいたします。
- 議題:1月の三クラブ合同例会の件
  - ▶日時:1月14日(木)18:30~20:30 会場:ZOOMによるオンライン
  - 内容:3クラブ会長挨拶 卓話・その他未定

活動予定

- 12/15(火) 12月例会@三島市市民活動センター会議室
- 12/15(火) 例会後、沼津クラブと富士山部関連で意見交換  
 例会開催および食事会・ZOOMでの開催の可否  
 ※12月16日の沼津クラブ役員会にて協議の為
- 1/14(木) 1月三クラブ合同例会18:30~詳細は未定

↓写真は思い出の一コマ



三島ワイズメンズクラブ 2020年12月号プリテン  
 <発行:会報・広報委員会(石川敏也・相川毅)>掲載内容に関することは  
 ☎090-3566-6494(石川)まで、気軽にお問い合わせください。

くまモンおじさんのプラタモリ紀行《三島クラブ編》

プラタモリで放送された場所で、くまモン光永が訪れた場所をシリーズで「プラタモリ紀行・三島クラブ編」としてお届けいたします。お楽しみに!



第5回「城郭の旅 彦根~二条城~大阪~姫路 徳川の深慮遠謀」

日本のお城は静かなブームとなっています。しかし、現存する天守閣は、第二次世界大戦の爆撃や戦後の失火で、弘前城(青森県)、松本城(長野県)、丸岡城(福井県)、犬山城(愛知県)、彦根城(滋賀県)、姫路城(兵庫県)、松江城(島根県)、備中松山城(岡山県)、丸亀城(香川)、伊予松山城(愛媛)、宇



和島城(愛媛)、高知城(高知県)の12しかありません。私の愛する熊本城や大阪城、名古屋城などは含まれていません。このうち、松本城、犬山城、彦根城、姫路城、松江城は

国宝5城と呼ばれています。私は100名上の33城を制覇中です。最初の天守を建てたのは織田信長で安土城がそれであったということです。西田敏行主演の映画の「火天の城」ではその当時の様子が描かれています。

この後、徳川の時代になってから、お城の役割も変わってきたわけですが、とりわけ、西国大名からの防御のために、彦根の井伊家、二条城の将軍家、大阪の豊臣家、姫路の池田家と千姫の話など、プラタモリ紀行を辿り、お城を巡る度に建物だけでなく、その歴史と巡りあわせに、時として涙したりもしています。



でも、やはり私は、闘将加藤清正が建設した、熊本城が一番。西南の役である西郷隆盛さんをして、「清正公に負けた」といわせしめました。江戸時代以後何度も立て直されていますが、ロマンが心の中に沁みます。【写真は上から「彦根城」「姫路城」「松山城」「高知城」「熊本城」「二条城】



在籍者	11名	メネット	1名	スマイル累計	14,000円
出席者	8名	ゲスト	0名	ブルタブ	0g
出席率	73%	ビジター	0名	ブルタブ累計	0g
メーキャップ	0名	総出席数	8名	古切手	0g
修正出席率	73%	スマイル	0円	古切手累計	0g